

## タケダ・ウェルビーイング・プログラム 2017 助成の概要と推薦理由

助成番号 17-1-1

---

プロジェクト名 長期療養児向けのスポーツ・レクリエーションプログラムの展開と人財育成  
団体名 特定非営利活動法人 Being ALIVE Japan  
代表者名 北野 華子  
所在地 東京都  
助成額 180万円  
助成期間 2018年4月1日～2019年3月31日  
設立年 2009年  
U R L <http://www.beingalivejapan.org/>



長期療養にある子どもたちは、医療の進歩により入院期間が短縮し、地域で生活を送りながら治療を受け、療養することが可能になってきた。しかし体力面での制限や通院等による欠席により、成長過程に必要とされる経験や学びを得る機会は少なく、同年代と比較しても自己肯定感やコミュニケーション力が育まれにくいことが課題となっている。特に「運動」は、身体面の配慮から機会そのものが限られてしまう。

この団体は、長期療養を必要とする子どもとその家族に対して、国内外で活躍するアスリートと協働しながら、病院内や地域社会において様々なスポーツ・レクリエーションを展開している。

今回の助成では、退院後の子どもたちを対象に、友人やきょうだいと共に参加できるスポーツ・レクリエーションプログラムを東京都世田谷区近郊で展開し、アスリートと共に運動を楽しむ機会を提供する。また医療的ケアの必要な子どもの身体的状況に適したプログラムを企画・運営できる「人財」を育成し、地域で継続的にプログラムを展開できるよう、組織体制の強化を図る。

本助成を通じて、地域社会の中で長期療養にある子どもたちの理解が拡がり、運動が特別なものではなく日頃から親しむことができるような環境が、地域で実現することを期待して助成する。